

愛知県 第2回高齢社会懇談会

資料2

高齢者の社会参加が拓く、持続可能な地域づくり



2019/7/31 愛知県議会議事堂 1階

東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム
藤原佳典



歴史に学ぶ～地域包括ケアシステムは戦略



内堀

外堀

2025年の地域包括ケアシステムの姿



今、なぜ多世代アプローチなのか？

「我が事・丸ごと」 共生社会の肝は



➤ 「丸ごと」とは、
「三方よし」 「論語と算盤」(澁澤栄一)

➤ 「我が事」とは、
「子供叱るな来た道だもの、
年寄り笑うな行く道だもの」

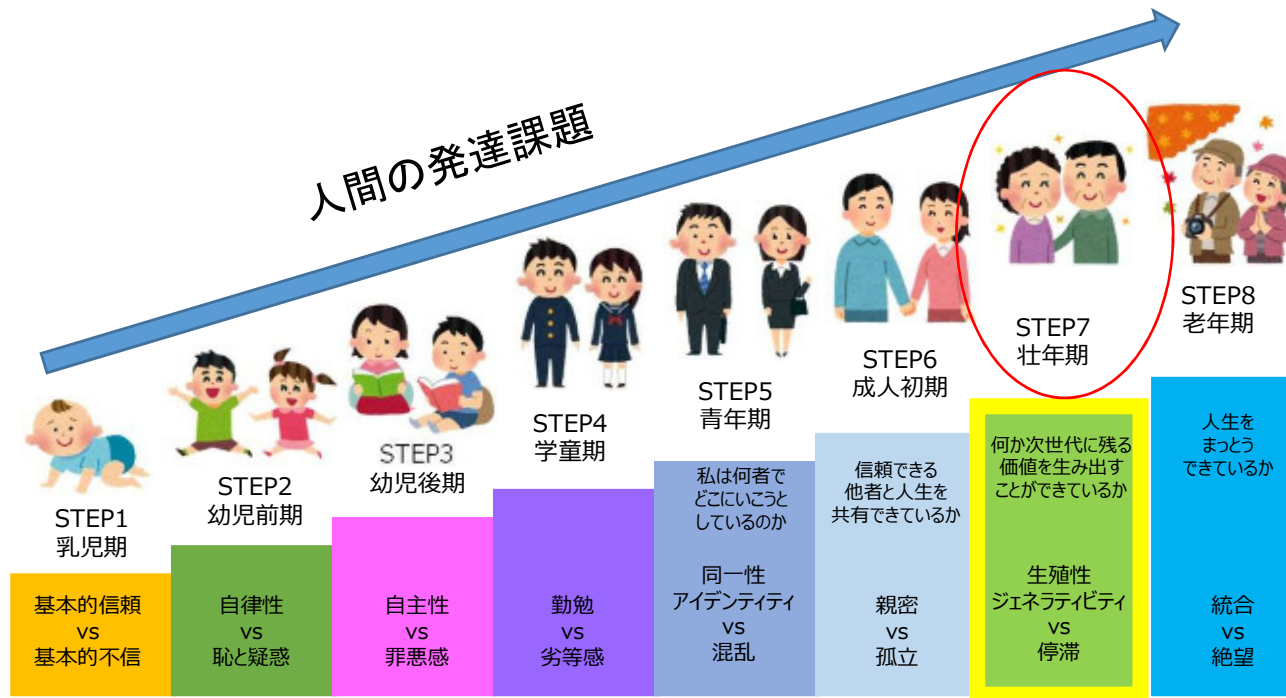


(澁澤栄一)

高齢者の視点・次世代継承への意識・行動

Generativity理論

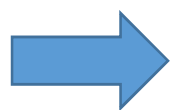
「次世代の価値を生み出す行為に積極的に関わること」



Erikson心理社会的段階目録検査

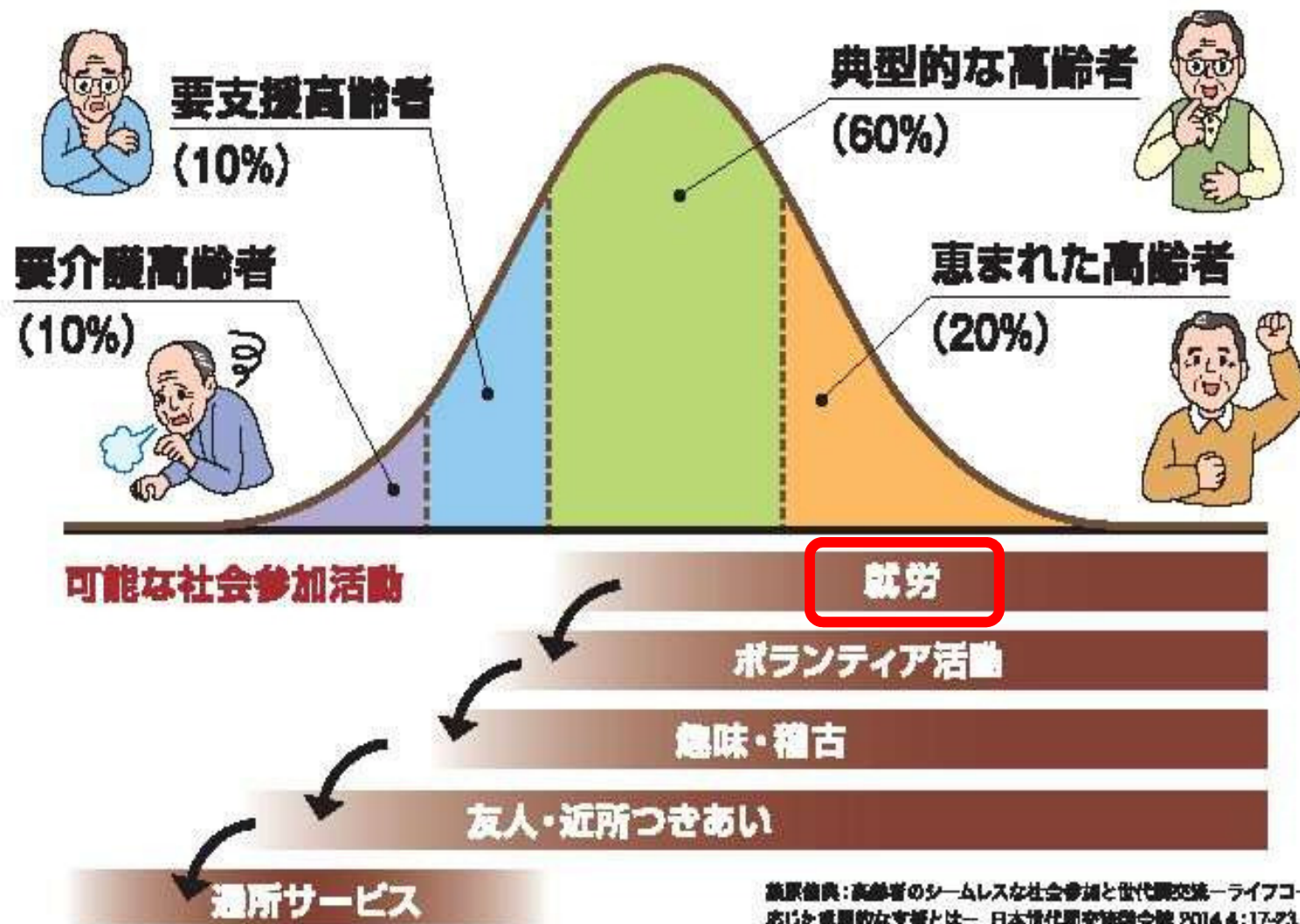


▲ E.H.エリクソン (1963)

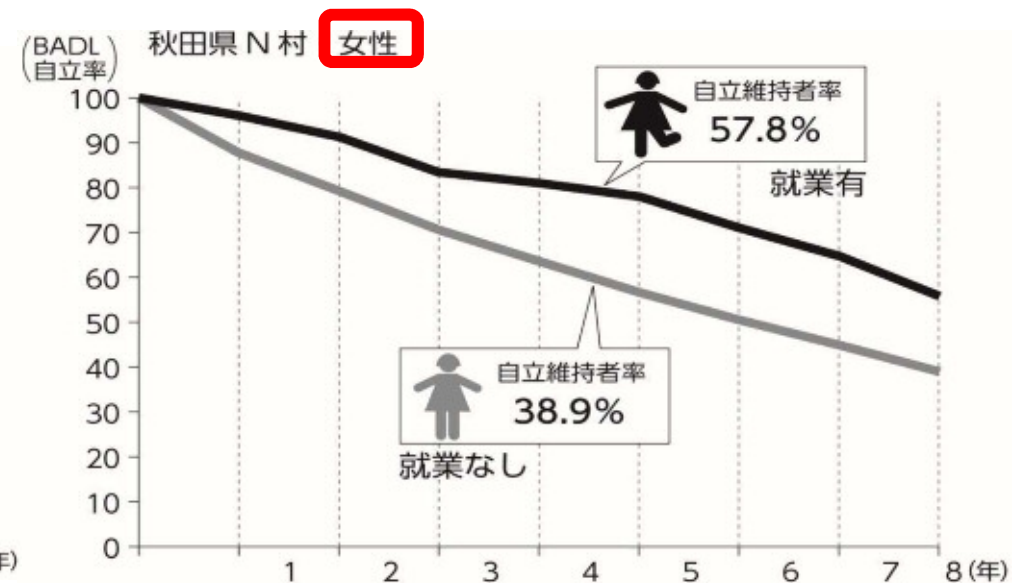
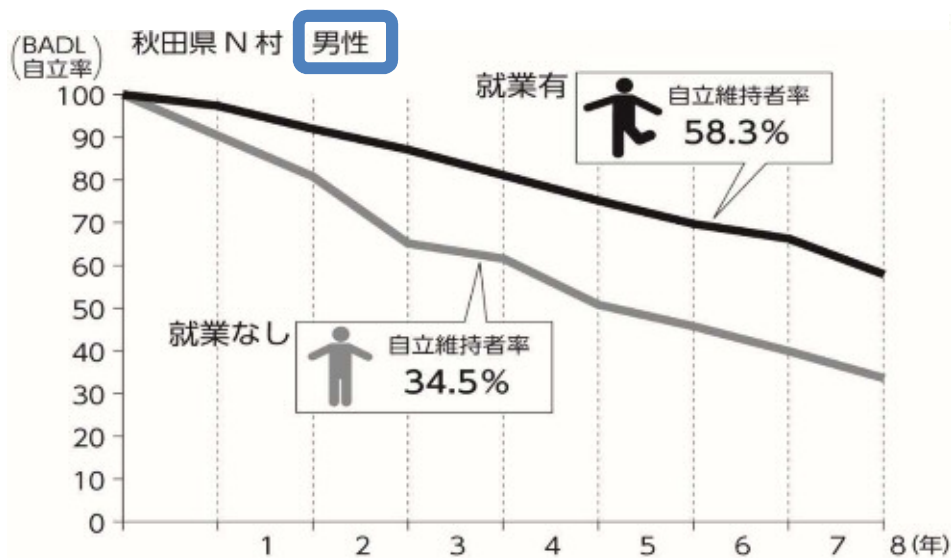
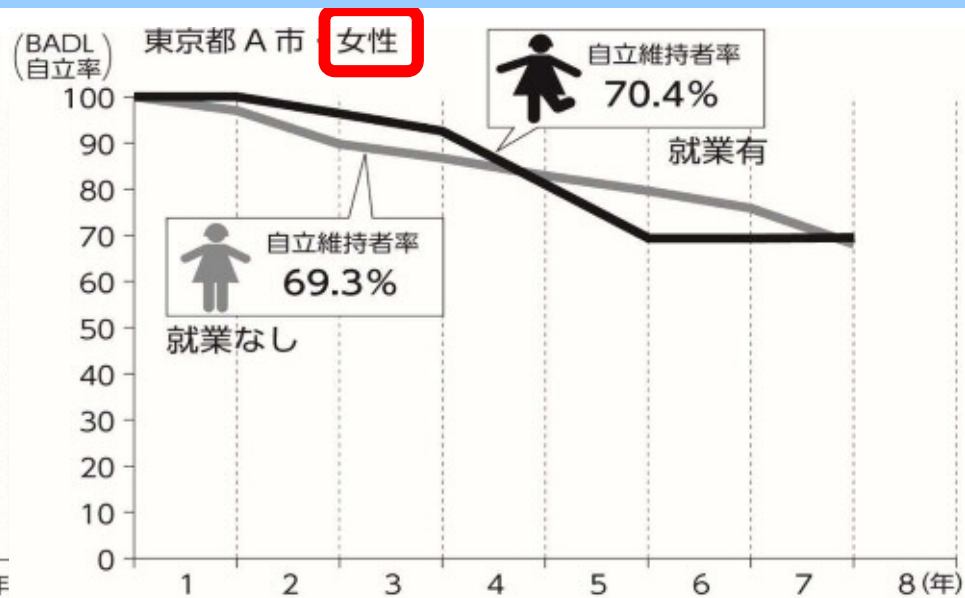
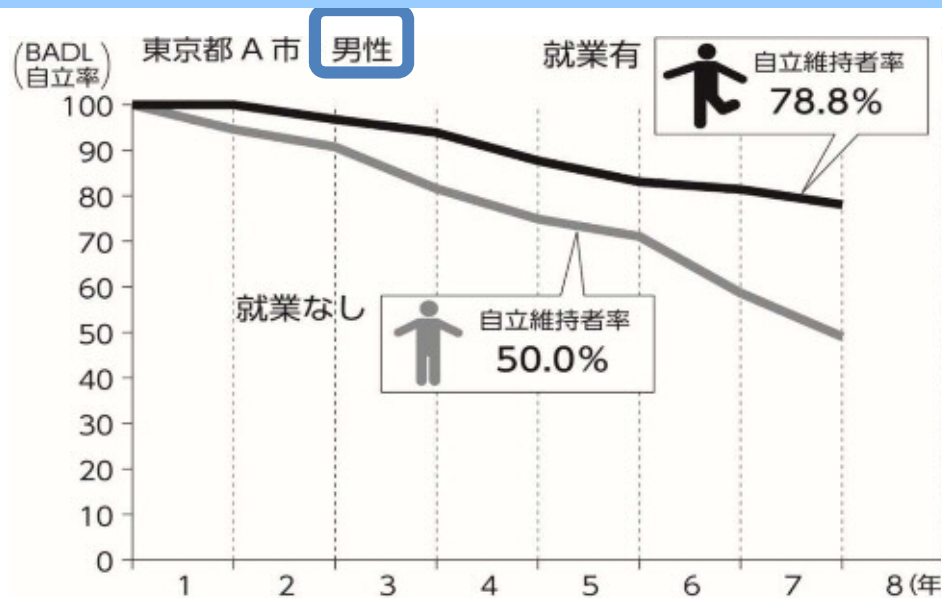


英知、思い、技術、経験、文化、環境・・・何かを伝える

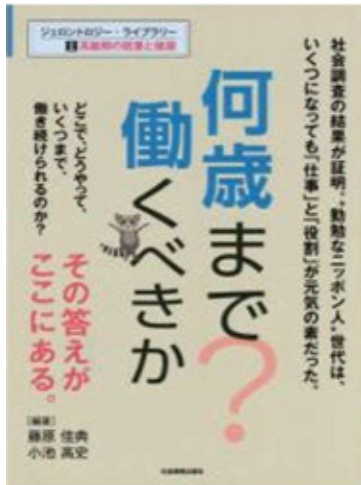
高齢者の機能的健康度による分布と社会参加活動の枠組み



就業が生活機能の維持に及ぼす意義



2014年～高齢者就労支援のあり方 研究会(研究者・実務者)を計25回開催



社会保険出版社



ミネルヴァ書房

JSPS科研費 基盤研究(A)
「大都市求職高齢者の実態解明およびシームレスな社会参加支援に向けた研究」(研究代表者:藤原佳典)

第2回 公開シンポジウム

介護福祉領域における高齢者就労の展望

平成31年3月16日(土)
13:30~17:30
桜美林大学 四谷キャンパス(千駄ヶ谷)

入場無料
事前申込必要
締切3/8

プログラム

開会挨拶 藤原 佳典 氏 (東京都健康長寿医療センター研究所)

第1部 トピック発表 高齢者就労を取り巻く環境

座長: 南 潮 氏 (鳥取短期大学)
 稲葉 陽二 氏 (日本大学)
 小池 高史 氏 (九州産業大学)
 松永 博子 氏 (東京都健康長寿医療センター研究所)
 高橋 知也 氏 (東京都健康長寿医療センター研究所)

第2部 特別講演

テーマ: 将来の介護需給と高齢者就労
 座長: 長田 久雄 氏 (桜美林大学)
 講演: 前田 翔三 氏 (経済産業省経済産業政策局産業構造課)

第3部 シンポジウム

テーマ: 持続可能な社会へ向けた高齢者の介護福祉就労の展望
 座長: 藤原 佳典 氏 (東京都健康長寿医療センター研究所)

1. 高齢者が活躍できる介護事業所の好事例報告
 相良 友哉 氏 (東京都健康長寿医療センター研究所)

2. 研究者・実務者によるディスカッション
 渡辺 修一郎 氏 (桜美林大学)
 塚本 成美 氏 (城西大学)
 石橋 智昭 氏 (ダイヤ高齢社会研究財団)
 大川 直人 氏 (社会福祉法人 池上長寿園)
 柳沼 亮一 氏 (社会福祉法人 三幸福祉会 社の癒しハウス文京関口)

中井 祐輔 氏 (株式会社みーつけあ)

<お問い合わせ先>
 東京都健康長寿医療センター研究所
 社会参加と地域保健研究チーム (担当: 相良、高橋)
 TEL: 03-3964-3241(内線4257) E-mail: essence@tmig.or.jp

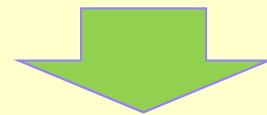
<お申し込みフォーム>
<https://form.os7.biz/f/47b7d3c1/>
 ※ スマートフォンの方は、QRコードで参加登録をおこなうことも可能です。

【主催】 ESSENCE研究会・東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 【後援】 桜美林大学

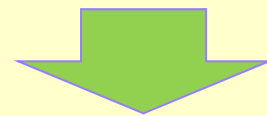
高齢者就労のめざす、三方よし



高齢者によし
+ 雇用者・現職によし
+ 地域社会によし



直接感謝される働き方

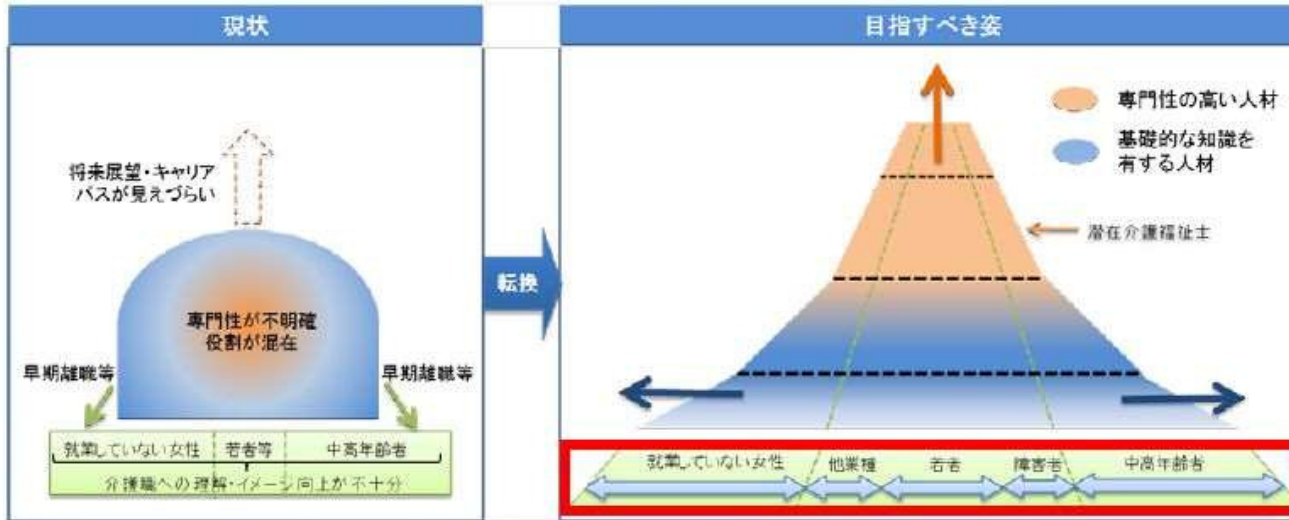


技の継承、ワークシェア、介護・育児支援・・・

ESSENCE研究会ステートメント(2019/3/16)

2025年に向けた介護人材の構造転換と「新たな担い手」

介護人材確保の目指す姿 ～「まんじゅう型」から「富士山型」へ～



参入促進	1. すそ野を広げる	人材のすそ野の拡大を進め、多様な人材の参入促進を図る
労働環境・処遇の改善	2. 道を作る	本人の能力や役割分担に応じたキャリアパスを構築する
	3. 長く歩み続ける	いったん介護の仕事についた者の定着促進を図る
資質の向上	4. 山を高くする	専門性の明確化・高度化で、継続的な質の向上を促す
	5. 標高を定める	限られた人材を有効活用するため、機能分化を進める

国・地域の基盤整備

介護現場の解決策

見本

切り札は、**介護助手**

監修：藤原任典
東京福祉大学介護センター 研究員 社会参加と地域保健研究チームリーダー・研究員
監修：東 憲太郎
公益社団法人全国老人保健福祉協会 会長

人材不足の介護現場に、とても助かる切り札がありました！
それは、元気シニアに活躍してもらうこと。介護助手として、比較的簡単な単純作業を初めてもらう取り組みが成功しています。世代の近いシニアの方は、無理なく介護現場へ移行込まれ、現場の評判も良好です。
三重県では、地域医療介護総合確保基金を活用して2015年から「介護助手導入」のモデル事業をスタートし、「18年未満在、すでに25都道府県に普及して現場の離職率を大きく減少させています。シニアを採用するメリットと、失敗しないコツをご紹介します。

成功のカギは、次の3つ

1. 目的とメリットをきちんと伝え、職員の理解と合意を得る。
2. 手伝ってもらえることから、初めから完璧を目指さない。
3. 1つの仕事を丸ごと任せず、上手に切り分ける。

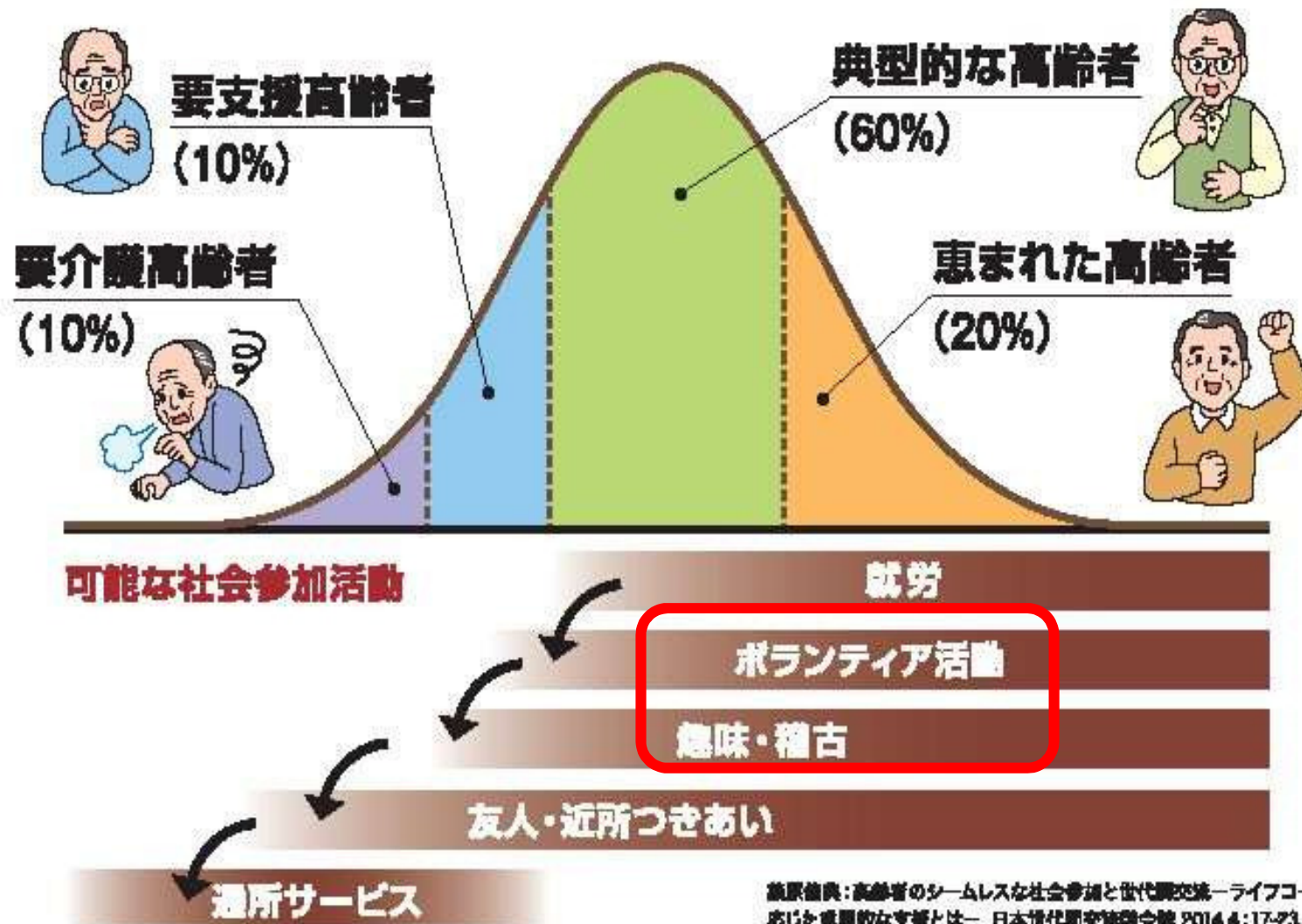
(藤原任典)

出典)社会保障審議会福祉部会 福祉人材確保専門委員会「2025年に向けた介護人材確保～量と質の好循環の確立に向けて～」(平成27年2月25日)

厚労省 介護現場革新会議 パイロット事業

～当チームで三重県における「介護助手」調査を委託 (2019/7～)

高齢者の機能的健康度による分布と社会参加活動の枠組み

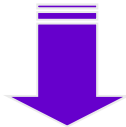


米国の高齢者・ソーシャルキャピタル戦略

Use it, or lose it
「頭、体、心」を使うか、さびるか？



学び、役割、仲間



プロジェクト「Experience Corps®」

◆ 公立小学校でのシニアボランティアによる

世代間交流モデル研究 (Fried et al. *J Urban Health* 2004)

OUR CHILDREN.
Each of us remembers a real difference in a parent or a grandparent right and wrong, a task challenged us to do our who listened when we h
Our children need, but do have, that special adult to learn and grow.

OUR CHALLENGE.
Experience Corps is a volunteer program that taps the time and experience of people over 55. Older adults have the talents and the experience to meet important needs in local elementary schools as volunteers.
Volunteers can contribute in three areas of greatest need identified by principals:

- Helping children to be better readers
- Making the school library work and helping the children use the library
- Supporting improved behavior and play without violence.

SHARE THE WISDOM OF A LIFETIME

• Are you over 60?
• Do you have life experiences to share?
• Do you want to make a difference for the future?
If you answered "yes" to these questions, say YES to Experience Corps.

This school-year, Experience Corps will put the talents and experiences of older city schools. If you want to help make a difference for several city schools, call us at 410-302-5496 to volunteer. Participants will receive \$150 a month for out-of-pocket expenses.

To volunteer for Experience Corps, call 410-302-5496

SHARE THE WISDOM OF A LIFETIME

- ARE YOU OVER 55?
- DO YOU HAVE LIFE EXPERIENCES TO SHARE?
- DO YOU WANT TO MAKE A DIFFERENCE IN THE FUTURE OF OUR CHILDREN?

IF YOU ANSWERED "YES" TO THESE QUESTIONS, SAY YES TO EXPERIENCE CORPS.

認知症予防発！世代間交流ボランティア シニア読み聞かせボランティア「りぷりんと」

2004~モデル版

- 東京都中央区（都心部）27名→40名
- 川崎市多摩区（住宅地）22名→57名
- 滋賀県長浜市（地方小都市）21名→100名

2006~普及版

杉並区、横浜市青葉区
豊島区、文京区、大田区

2015~

北区、板橋区、府中市
練馬区、千代田区

2017~

狛江市
北秋田市

2018~

新宿区
立川市



WHO ワールドレポートにて 優良事例として紹介



自治体の介護予防・認知症予防事業として飛躍的に展開

絵本は世代間交流+健康の宝庫・・・安・近・深

➤ **主人公が高齢者多い**

➤ **メッセージ性**

➤ **多種多様、無尽蔵**

➤ **借りれば無料**

➤ **近くの図書館で**

生涯学習型 認知介入プログラム

第1回 今読まれている絵本について



第2-3回 忘れられない絵本, 自分を知る

- 絵本の記憶の掘り起こし, 伝えるという技術について



第4回 読み聞かせに必要な体づくり

- 柔軟体操から呼吸法、発声と滑舌

読み聞かせの技術



第5-6回 読み聞かせの練習

- 読解と表現, 文章理解と感情移入

記憶トレーニング



第7-8回 読み聞かせ発表会

- 個別発表会, 自己採点・講評

読み聞かせ実践

第9回以降 グループ発表会の準備, 実演

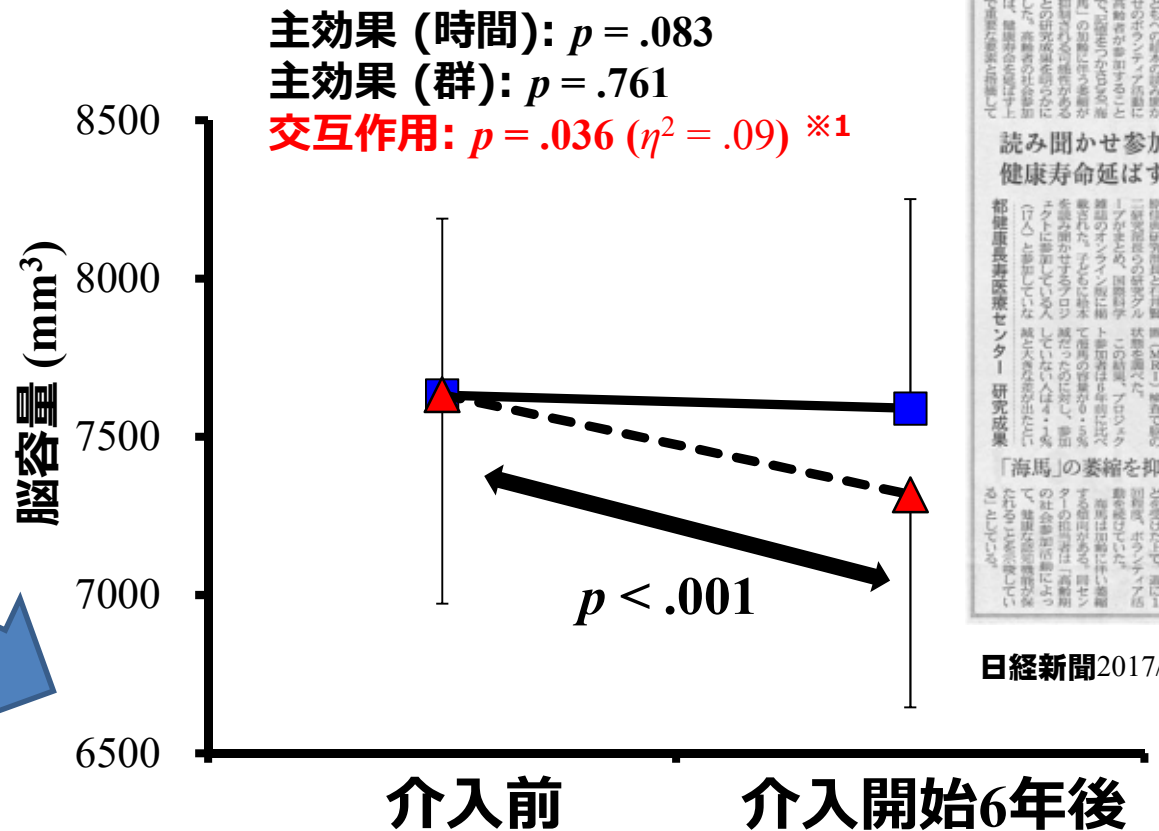


■ ボランティア群 (介入群) : 17名

▲ 対照群 (健診参加のみ) : 42名



6年間ボランティア継続



「海馬」の萎縮を抑制
 東京都健康長寿医療センター 研究成果
 読み聞かせ参加
 健康寿命延ばす?

日経新聞2017/9/20

※1 性、年齢、教育年数、現病歴、抑うつ得点、頭蓋内容量、MMSE得点、ApoE遺伝子型、追跡期間を調整

Sakurai et al. *Int J Geriatr Psychiatry*. 2017

文化活動だけど体力も維持！ — 7年間の長期効果 —



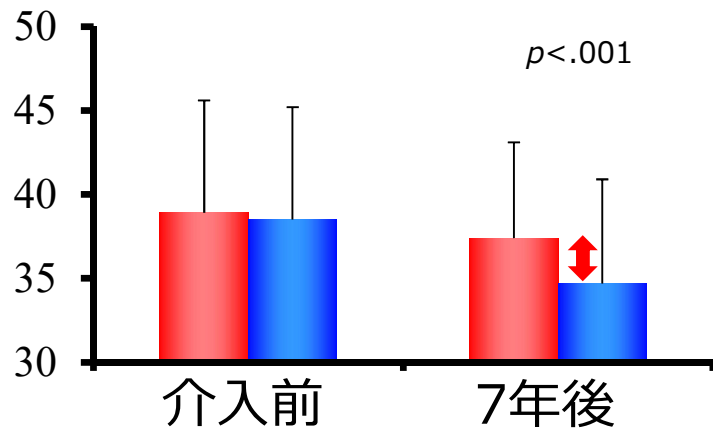
介入群(ボランティア)62名、対照群100名を7年間追跡

■ 介入群 ■ 対照群

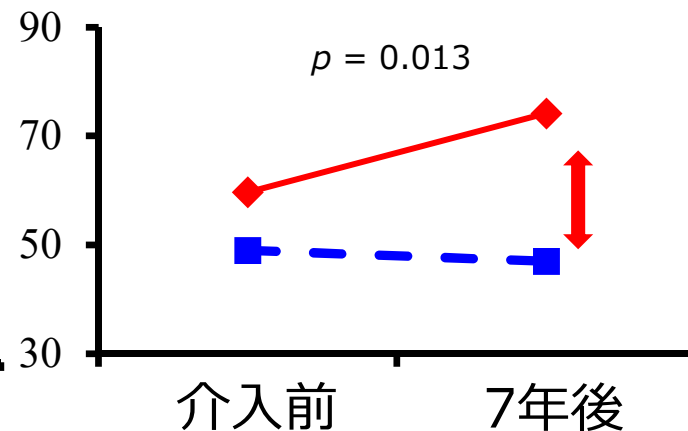
— 介入群 対照群

※交絡因子を調整

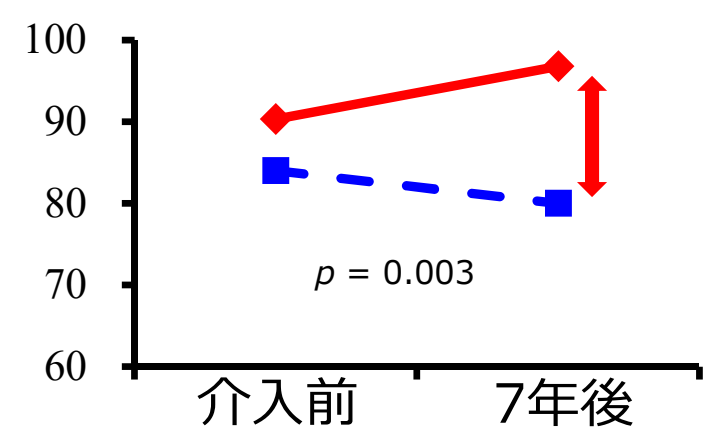
前のめりバランス(cm)



近隣子供との交流者(%)



知的能動性維持・向上者(%)



知らず知らず一日1万歩！

りぷりんと活動の多面的効果

受け手への効果



子供への効果



- 活字・文学離れ予防
- 集中力
- シニアへの尊敬・感謝
- 教師、保護者以外の第三者の介在

保護者への効果



- シニアへの尊敬・感謝
- PTAの負担軽減
- 地域の見守りの一助

教職員への効果

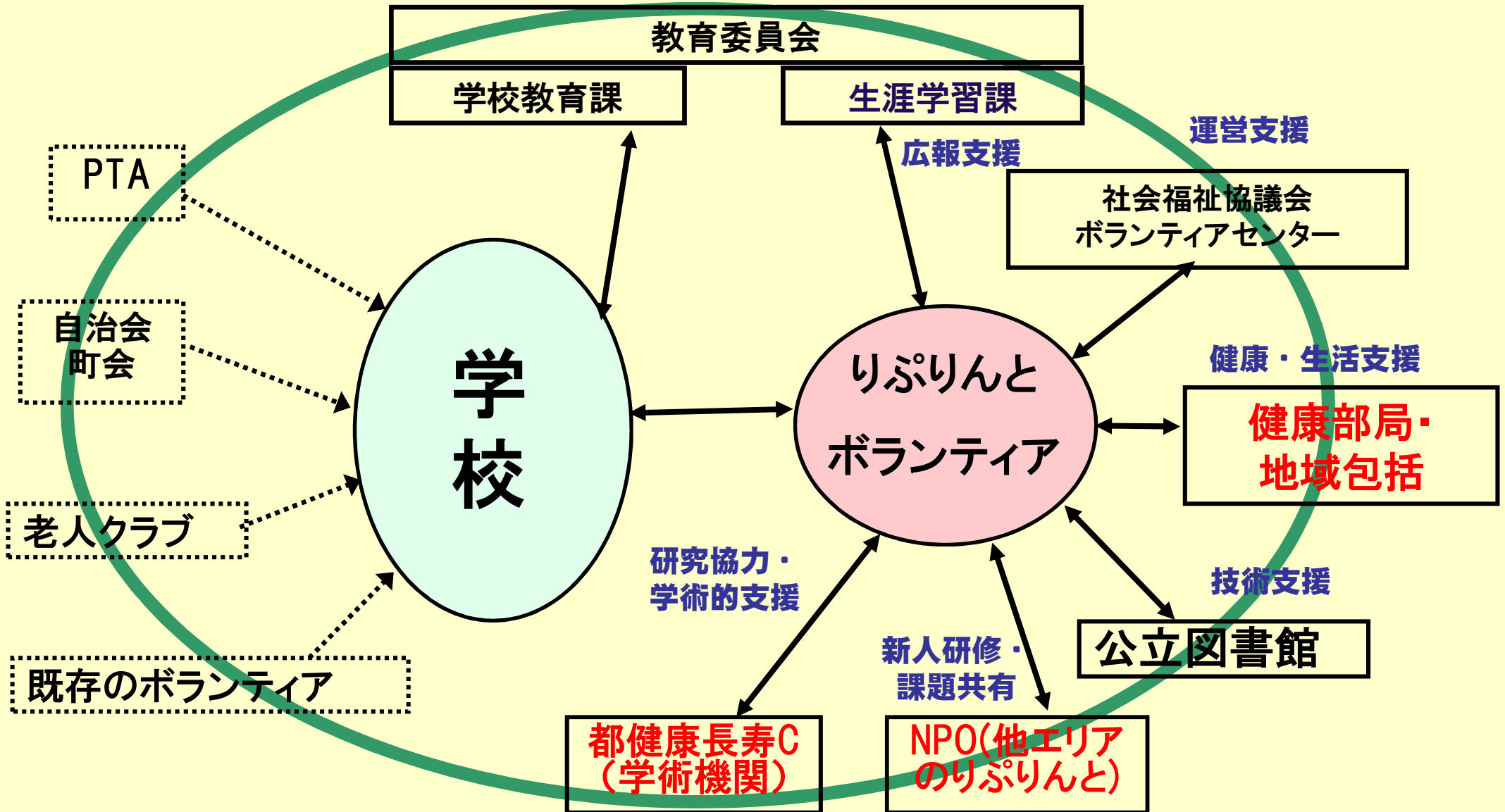


- 開かれた学校のモデル
- 重層的な地域との連携のモデル

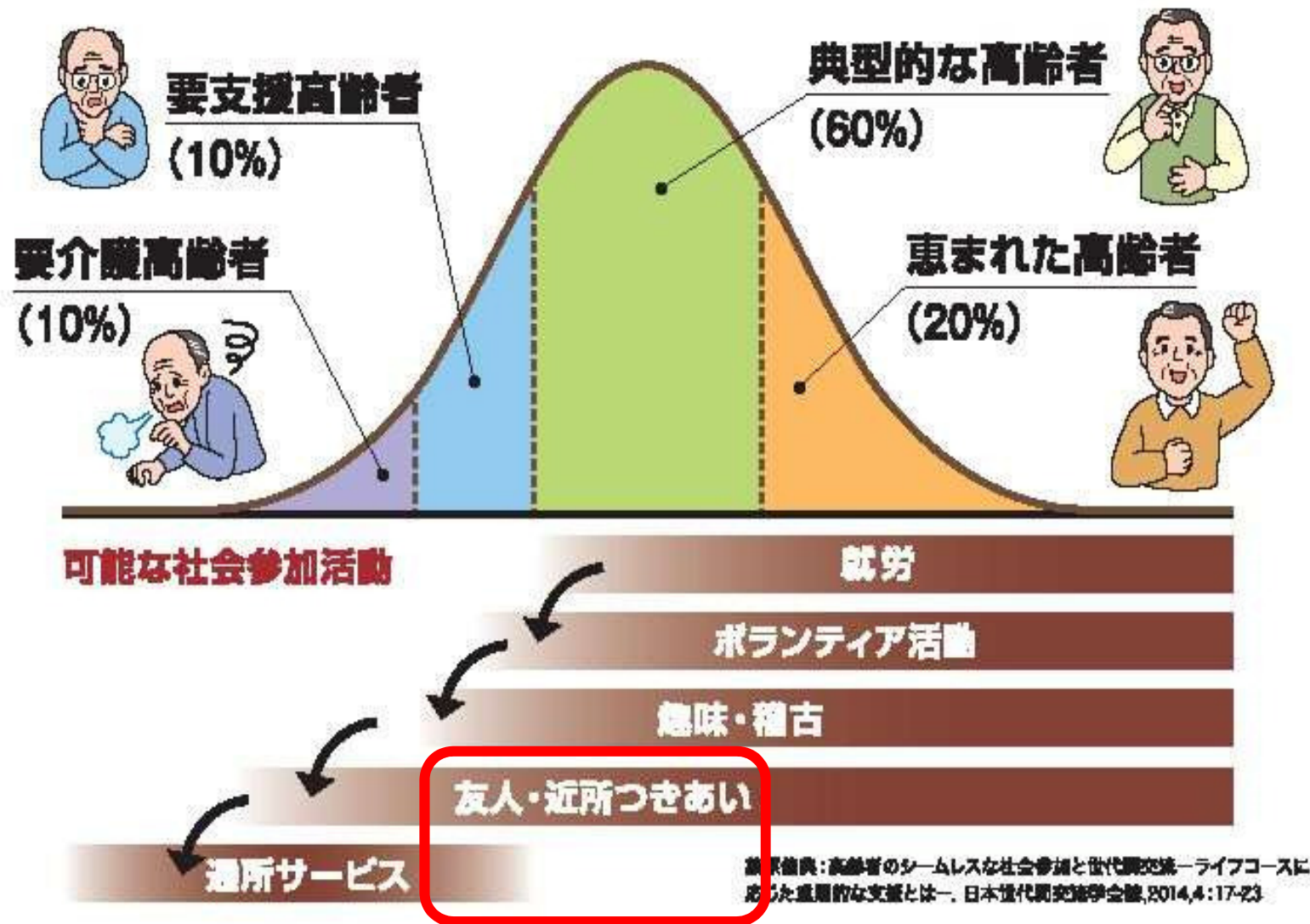
藤原他2007;村山他2012;竹内他2013

藤原他2010; Yasunaga, et al 2016, Murayama et al. 2018

「りぷりんと」を取り巻く、ローカルネットワーク



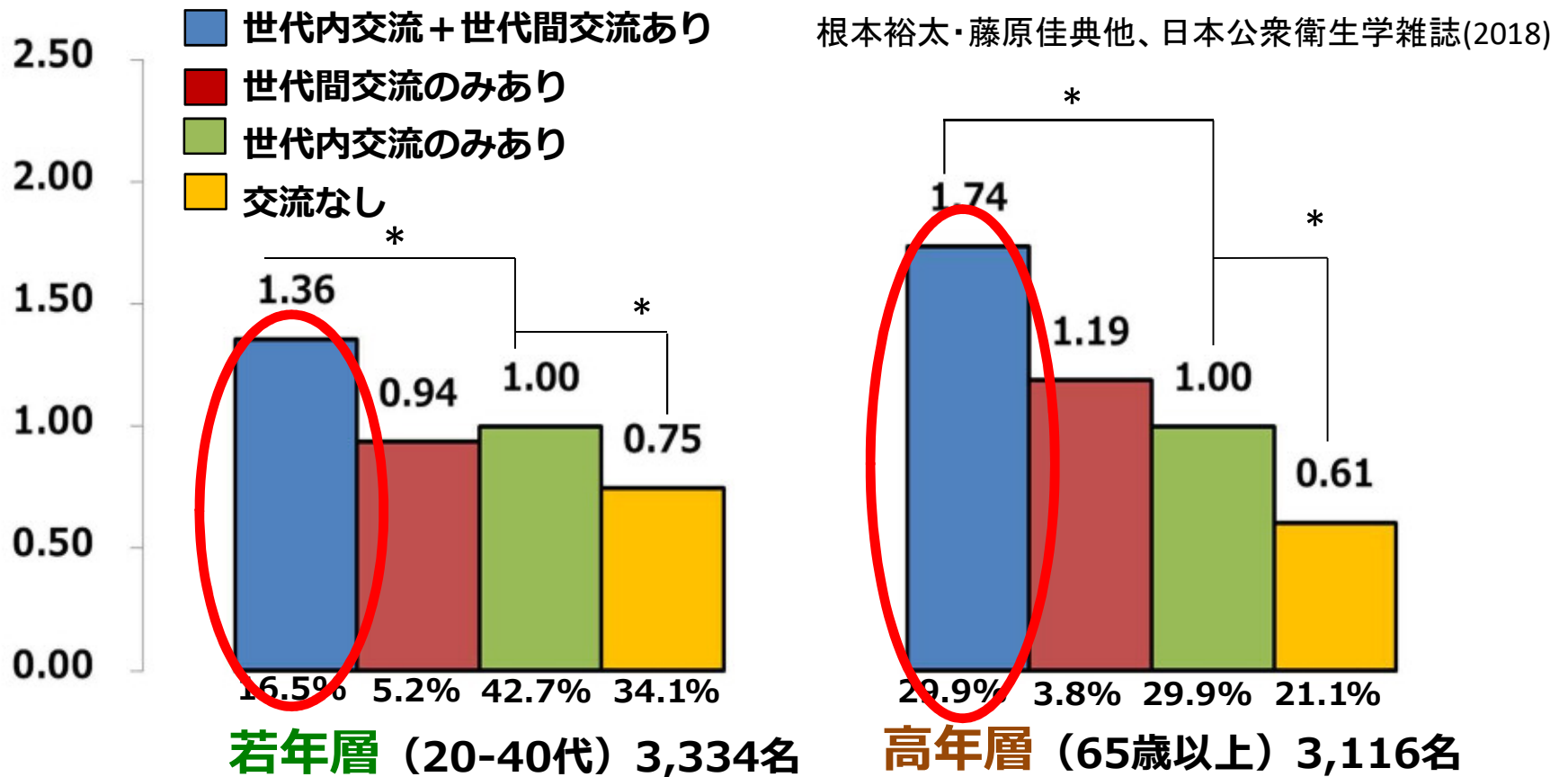
高齢者の機能的健康度による分布と社会参加活動の枠組み



一般住民においても、世代間交流は健康に良い！

世代間・世代内交流の有無と精神健康の関連

「1」の健康（WHO-5）が良好であるオッズ比





※1 性、年齢、教育年数、婚姻状況、居住地域、婚姻状態、子/親/祖父母との同居、主観的経済状態、地域活動への参加、就労、健康度自己評価、生活機能(高齢者のみ調整)、既往歴(脳卒中、心臓病)を考慮した解析 ※2 家族や仕事関係の人以外で会話をする機会を問い、「よくある、ときどきある」と回答したものを「交流あり」とした。

世代を問わず、世代内交流をしている者は、交流をしていない者より精神的に健康であり、世代間交流もしている者はさらに健康度が高い。

多世代型介護予防・日常生活支援総合事業プロジェクトの全体イメージ

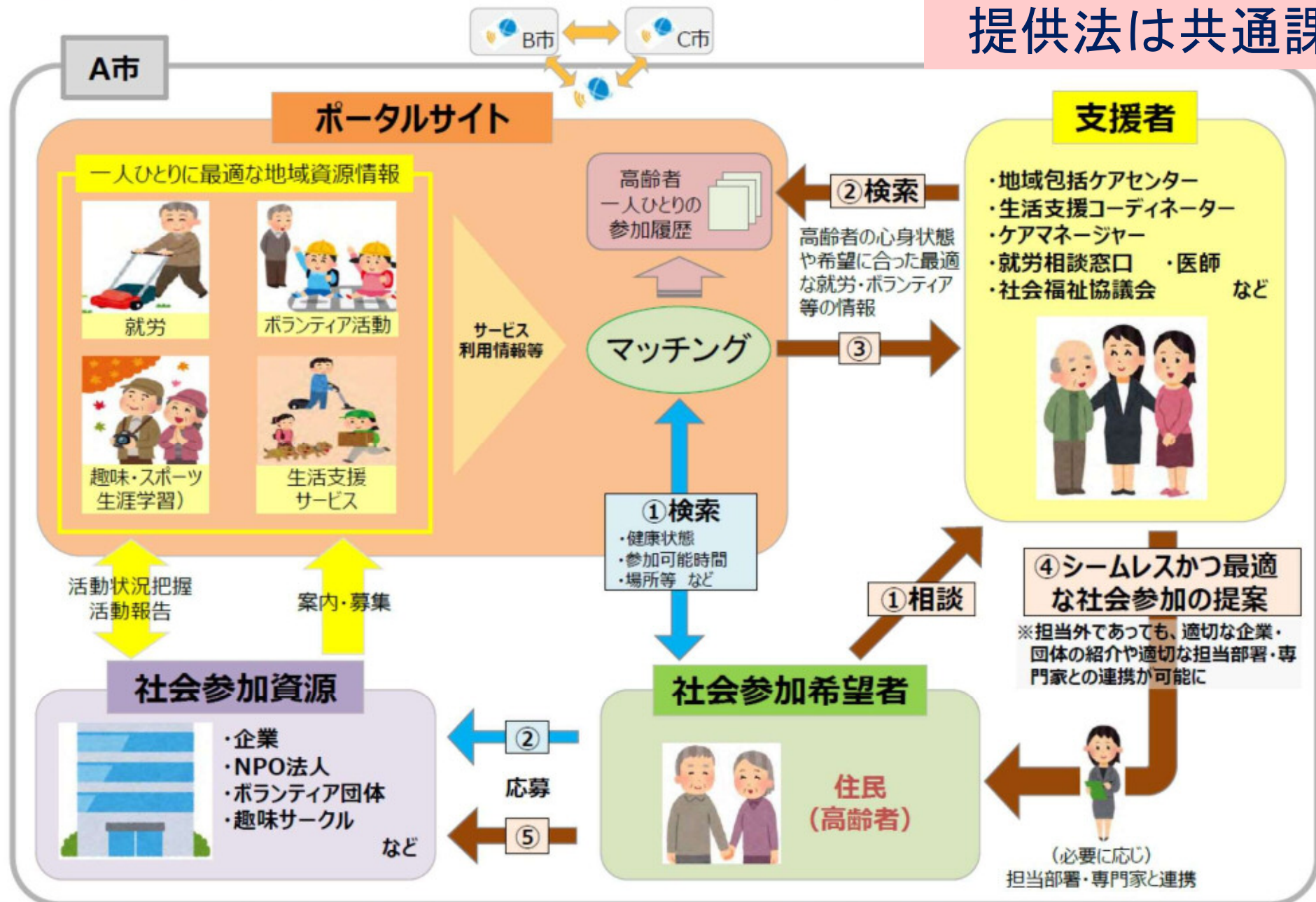
JST-RISTEX「持続可能な多世代共創社会のデザイン」(H27-30) 助成

東京都北区 人口35.4万人 高齢化率24.8% 14歳以下10.3%		志茂地区 人口20,265人 (2019年6月1日 時点)	川崎市多摩区 人口21.0万人 高齢化率19.8% 14歳以下11.3%		中野島地区 人口20,479人 (2019年4月1日 時点)
---	---	---	--	---	--



(イメージ図)「誰でも社会参加コーディネーターシステム」

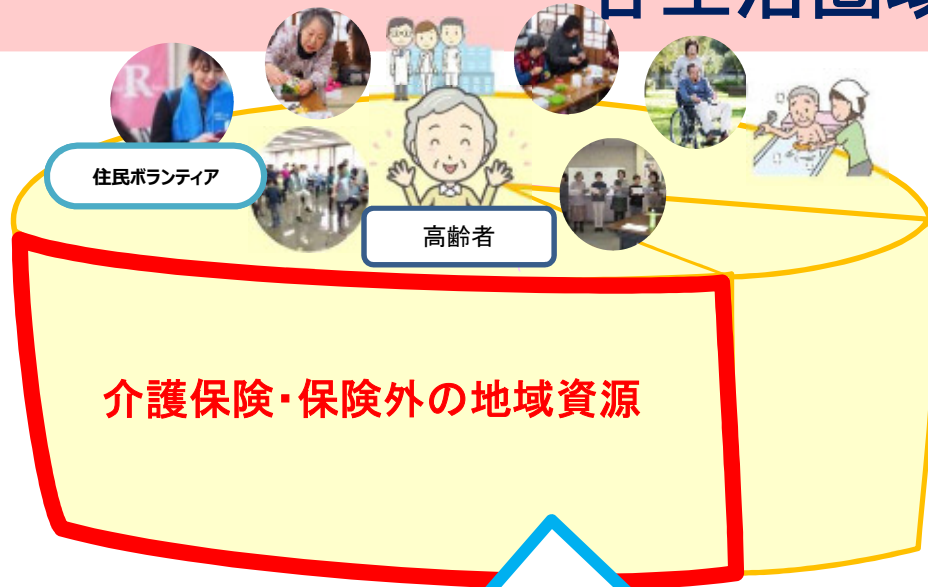
社会参加情報の提供法は共通課題



(出典) 未来投資会議 第3回構造改革徹底推進委員会「健康・医療・介護」会合 (平成29年12月) 資料2 (東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 藤原佳典研究部長 提出資料) を参考に経済産業省作成

各生活圏域での地域包括ケアの全体像

*当チーム、大田区、(株)ウエルモとの協働事業
http://www2.tmig.or.jp/spch/project_gaiyou_mirumo.html

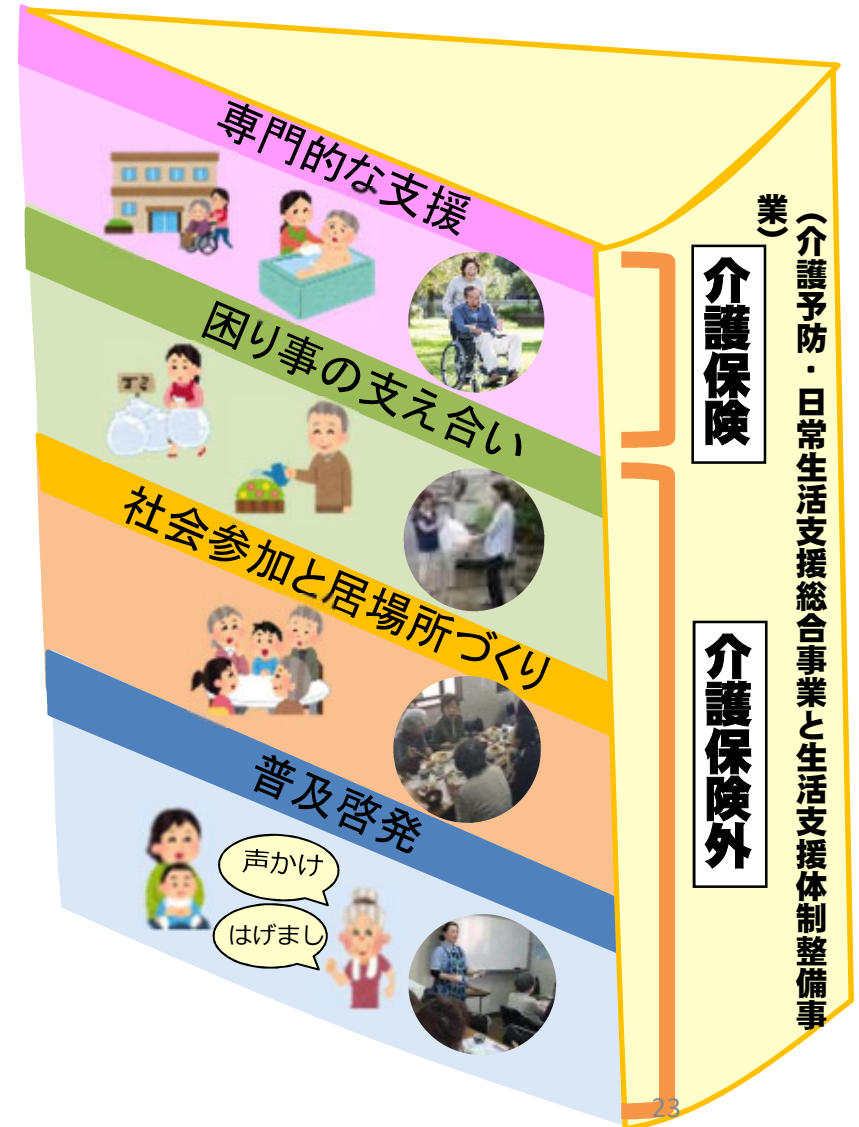


地域主体による会議

情報収集とフィードバック



住民ボランティア



地域ケア資源情報見える化サイト「ミルモネット」の実績

■ 介護保険内資源登録数 711件 2019/7/18現在

■ 介護保険外資源登録数 333件

地域包括支援センターが2018年9月より地域資源を把握し、

1) 包括が代行入力、2) 地域資源が自主的入力を行った。

-活動通いの場 232件

-介護タクシー・移送 21件

-生活支援（自費ヘルプ） 12件

-配食サービス 12件

-訪問理美容 4件

-遺品・生前整理 5件

-見守り・緊急通報 2件

-その他 45件

